川崎医療生協

12月号

絵手紙
古向支部　橋本　むらを

発行所　川崎医療生活協同組合　〒210-0804川崎市川崎区藤崎４-21-１　発行責任者　星野　俊平
定価１部10円〒60円（購読代金は出資金に含まれています）ＴＥＬ044(270)5881

川崎医療生協の現状

〈10月末〉

組合員	39,831人
出資金	1,551,152,000円

川崎医療生協では一世帯５万円以上の出資金をめざしています。

川崎医療生協はこんなところ

病院をはじめ医療、福祉事業を市内26カ所で展開

組合員数は3万9000人

1951年に川崎区大師町で誕生した川崎医療生活協同組合（以下、川崎医療生協）は今年で74年になります。大師診療所から始まった事業は今では、川崎協同病院をはじめ、診療所（歯科も含む）が8つ、訪問看護が3つ、訪問介護2つ、介護老人保健施設1つ、デイサービス2つ、デイケア2つ、居宅介護支援3つ、看護小規模多機能型居宅介護1つ、地域包括支援センター3つを運営する法人になっています。こうした法人の事業と3万9000人を超える組合員の活動について紹介します。

川崎医療生協が他の病院・診療所・介護事業所と違うところは、地域住民の組合員と、医療の専門家である職員が一緒になって、地域で保健予防活動や、平和や社会保障の充実を求めて活動しているところです。組合員だけでなく、地域住民の人や団体とつながりながらまちづくりを進めています。

拠点病院

川崎区の桜本に川崎医療生協の拠点病院「川崎協同病院」があります。川崎救急告示医療機関として24時間365日救急を受け入れています。

川崎医療生協の病院と診療所は「無料低額診療事業」を川崎市内で唯一行っている病院・診療所で、生計困難者や、経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限される人がいないよう、無料または低額な料金で診療を行っています。

また、医療ケアを必要とする、重症心身障害児・者の日中お預かりをする施設「ぽっかぽか」が病院内にあり、どんな重い障害があっても安心して家族一緒に暮らせる町にしたいという思いで運営しています。

コロナ以降、久しぶりに開催された協同地区健康まつり（ふじさきクリニック周辺）

市内に8つの診療所

診療所は、川崎区に4つ（歯科も含む）、幸区に1つ、高津区に2つ、麻生区に1つあります。川崎区にある生協歯科クリニックは、川崎区と幸区を中心に歯科訪問診療を行っています。

介護が必要になった時、まず居宅介護支援（ケアプランセンター）に相談します。ここではケアマネジャーが本人や家族と相談しケアプランを作成します。そのケアプランに基づいて、自宅を訪問して看護師や理学療法士等が療養上の看護を行う訪問看護や、家事や身体介護の日常生活を支援する訪問介護を利用することができます。さらに、日中に施設へ通って生活機能の向上を目指しリハビリや入浴・食事等の支援を受けるデイサービスやデイケアもあります。

中原区には「なかはら看護小規模多機能ホーム」があり、通い・泊まり・訪問介護・訪問看護を組み合わせ、医療ニーズの高い利用者の受け入れを行っています。

介護事業所

川崎医療生協は川崎市全域で介護サービスを展開し、病気や障がいを持つ人、介護が必要な方が住み慣れた自宅で安心して暮らし続けられるよう支援しています。

地域での活動

川崎医療生協の理念は「健康をつくる　平和をつくる　いのち輝く社会をつくる」です。この理念に基づき、いろいろな活動を地域で行っています。

「健康をつくる」点では、各地の公園などで定期的にストレッチやウォーキングを行うほか、町内会や老人会などからの要請で、血圧や体組成、骨密度、握力、足指力などの健康チェックを行い、地域住民への保険予防を推進しています。

毎年、各地で「健康まつり」を開き、健康増進と地域の人たちとの交流をしています。また、最近では川崎市内のイベントに出向き健康チェックやモルック体験などを行っています。

「平和をつくる」点では、戦争に反対し、核兵器のない世界を目指し、平和施設の見学や学習、戦争体験者の話を聞く会などを行い、毎年、原水禁世界大会やビキニデーには代表者を送っています。

「社会をつくる」点では、人々の生活を支える社会保障について学び、川崎市や県、国に社会保障制度の充実を求める宣伝や署名を集める活動を行っています。また、毎年1回、川崎市に対して、道路の補修から公園の整備、制度の新設や拡充を要求する「1班1支部1職場1要求運動」を行い、川崎市に要望書を提出しています。

健康チェックも医療生協の魅力

青い空

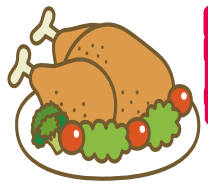
米国の歌手で2016年にノーベル文学賞受賞者のボブ・ディランの初期作品に『時代は変わる』という曲があります。「♪今はビリでも明日は先頭に立つことだってあるんだ、時代は常に変化しているから…♪」。今、時代は激変につぐ激変です。ただ私たちは、自分たちの生きているこの時代が、どう変わるかを注意しなければと思います。例えば、4兆円もの医療費が削減されるような世の中に変わってしまえば、病院がなくなり、医療従事者が削減され、国民のいのちが危うくなります。

こうした事態の中、私の家族が知り合いから聞いた「医療費削減」ビックリ話があります。この知り合いは「私たちの払う健康保険料が、削減される(安くなる)のかと思った。だから、いいことだと思っていた」と。もしかして、こんな勘違いをしている人が巷に少なからずいるかも知れません。

「♪ほら、まわりの水かさが増してきた、ぐずぐずしていると溺れてしまうぞ、さあ泳ぎ出せ…♪」。4兆円の医療費が削減でなく、増額されるように『時代を変える』行動を。

理事　塩田　儀夫

〈お願い〉　住所（住居表示変更含む）や家族の変更がありましたら、本部までご連絡ください。



食事の摂り方、お酒の飲み方は？

年末、年始の食生活を意識して

年末はクリスマスや忘年会など、ふだんとは違った食生活となり食事やお酒を楽しむ機会が多くなります。食事を楽しみながらも体のために意識しておきたい食事の摂り方やお酒の飲み方ついて紹介します。

川崎協同病院　管理栄養士　池内 紀々

脂質や糖質、塩分の過多に注意

クリスマスにはフライドチキンやピザ、ケーキなど脂質や糖質が多い料理を食べる機会が多く、野菜などのビタミンやミネラルが不足しがちです。また忘年会では揚げ物やお肉料理、味付けの濃いおつまみが多く、脂質や塩分過多にもなりやすい。

脂質や糖質の摂りすぎは、肥満だけでなく腸内環境の乱れによる下痢や便秘、免疫力の低下に繋がります。またビタミン、ミネラル不足は疲労感や集中力の低下などの原因となります。継続的にそのような食事が続くと脂質異常症や糖尿病、高血圧等の罹患リスクも高まります。

食物繊維を追加しよう

野菜や海藻などに含まれる食物繊維には次の作用があります。糖質の消化吸収を緩やかにし血糖値の急激な上昇を防ぐコレステロール（脂質）の排泄を促進。

毎食の食事に追加し、習慣的に摂ることが大切です。また食事の際、最初に食べると効果的です。ただし、腸閉塞などある方は摂取を控えた方がよいこともあります。医師や管理栄養士等にご相談ください。

料理での工夫方法としては、クリスマスでは、サラダを添えたり具だくさんスープを準備するなどする。（ポタージュよりコンソメスープ等にすると脂質が抑えられる）。

忘年会では、揚げ物などの摂りすぎに注意し、サラダや枝豆や冷奴等の低カロリーでたんぱく質が摂れる食品を食べるようにする。

お酒の前にまず食事を

まずはお酒を飲む前に食事を摂ることが大切で、特に野菜（食物繊維）を摂るが大事です。食物によりアルコールの吸収が緩やかになり、酔いが早く回ることを防止し、胃腸も保護することができます。また、アルコールによりビタミン、ミネラルが失われやすく、利尿作用により脱水のリスクもあります。あわせて水分もこまめにとりましょう。

お酒は糖質を含み、飲みすぎると肥満などの原因ともなります。翌日には油の多いものや糖質を多く含むものは控え、胃腸に優しい消化のよい食事とし、体を整えることが大切です。必ず「休肝日」を設けましょう。

食事全体のバランスを意識しながら、お酒の飲み方に気をつけ新年も健康に過ごしていきましょう。

加入・増資にご協力を

川崎医療生協は組合員の出資金で運営されている生協法人です。

組合員さんの出資金が医療機器購入や組合員の活動をサポートしています。

今年度まだ増資をしていない方は年度内にぜひお願いいたします。

また、川崎医療生協に加入していただける方もご紹介ください。

健康まちづくり推進部（044-266-7532）

健康相談会のご案内

川崎すみれ薬局では、薬剤師による健康相談会を年4回開催しています。テーマは季節に合わせています。詳しくは薬局窓口でお尋ねください。

川崎すみれ薬局	**川崎薬局**	**大師薬局**
☎044-287-7510	☎044-299-4780	☎044-266-5759
ふじさきクリニック隣	川崎協同病院隣	大師診療所隣
そよかぜ薬局	**川崎コスモス薬局**	**くじら薬局**
☎044-533-1223	☎044-355-6395	☎044-820-0331
川崎セツルメント診療所ななめ前	京町診療所隣	久地診療所近く

一般社団法人メディホープかながわ　藤沢市藤沢 854−11　☎ 0466−52−6950

第７回

やさしい医療DX

第２章：番号制の歴史

協同ふじさきクリニック　所長　桑島 政臣

前回までは医療DXについて大きな流れを示してきました。今回から第2章：番号制の歴史を4回に分けて説明します。まず戸籍の歴史です。

日本の戸籍制度は、国家が個人を把握し統治するための基本的仕組みとして古代に起源を持ち、時代によって大きく形を変えてきました。

起源は飛鳥時代の「庚午年籍」（670年）や「庚寅年籍」（690年）とされ、中国の律令制度を手本に、戸と人を把握して租税・兵役・労役を管理するために作成されました。

奈良・平安期には戸籍（こせき）と計帳（けいちょう）が整備され、身分秩序の管理にも用いられましたが、律令体制の衰退とともに実質的な機能は弱まりました。

中世から近世にかけては、戸籍に代わる管理帳簿として、寺院が住民を把握する寺請制度の宗門改帳、藩が領民を管理する人別帳・宗門人別帳が広く用いられ、身分統制や治安維持の役割を担いました。

近代的な意味での戸籍制度が確立したのは明治期です。明治政府は中央集権国家建設のため1871年（明治4）「戸籍法」を制定し、翌年「壬申戸籍」を編製しました。壬申戸籍は全国民を網羅した初の近代的戸籍でしたが、身分差別情報を含むため現在は閲覧制限されています。

その後、1886年の「戸籍法」改正で家を基礎とする家制度的戸籍が整い、1947年の新戸籍法（現行の戸籍法）で「家」から「個人」へと理念が転換されました。さらに戦後は戸籍電算化や住基ネット整備により、戸籍事務の効率化が進みました。

このように戸籍制度は、日本社会の統治構造・家族観・身分制度に応じて大きく変遷してきました。

くらし・社会

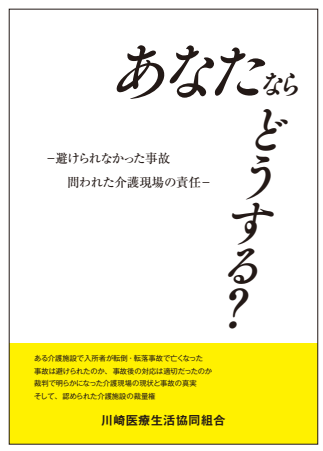
認められた介護現場の裁量権
「樹の丘」裁判の報告集まとまる

高齢者の人口が増え続けるなか近年高齢者の転倒事故が増えています。働く高齢者はもとより介護施設でも転倒が増え問題になっています。転倒事故は、骨折や重い後遺症をともなうことがあり時には死亡に至りますが、その時、骨折した本人あるいは家族が「事故を招いたのは施設側の責任だ」として訴えることがあります。

2019年10月、川崎医療生協が運営する介護老人保健施設「樹の丘」（川崎市高津区）で、入所者が転倒して亡くなるという事故が起きました。施設では事故発生前、また事故の発見後も可能な限りの対応をしたので事故は避けられなかったと遺族に説明しましたが、遺族から事故の責任を問う損害賠償請求の訴訟が起こされました。

遺族は、「樹の丘」の職員には入所者を見守る上で注意義務違反があった。また、事故後、早くに救急要請や医師に連絡をとるべきだったのにしなかった医療措置義務違反があったと主張しました。これに対して川崎医療生協は事故の検証の結果や医学的知見により全面的に反論しました。

2024年12月、横浜地方裁判所川崎支部で下された判決では、原告である遺族の訴えが退けられ、原告は控訴せず判決が確定しました。川崎医療生協は、事故の教訓を生かしたいと、事故検証や裁判の経緯をまとめて、報告書『あなたならどうする?―避けられなかった事故 問われた介護現場の責任―』を作りました。筆者は被告側の弁護団です。



報告書では「判決の理由の中で介護施設での介護士の専門性とそれにもとづく裁量権が認められました。医療裁判ではしばしば認められる医療側の裁量を介護の分野でも認められたのは画期的なことでした」と、裁判を評価しています。

こうした事故で訴えられた場合、施設側は、事故に遭ってケガをしたり亡くなったりしたという重い結果から適切な介護をしていたと認識していても、本人や家族の主張を受け入れてしまう場合があります。また、裁判では施設側の責任を認める判決が目立つのが現状です。

しかし、大事なのは事故の状況と理由を突き詰めることです。それが再発の防止や、事故に遭った人や家族と同様、介護現場で働く人の立場も尊重することになります。

こうした観点から、「樹の丘」と弁護団は、事故後ただちに検証し、介護現場で職員がどのように日々対応しているかという詳細な実態とともに真相を明らかにしました。

入所者の行動の自由度を考慮していく中で転倒事故を100%防ぐのは不可能です。「転倒」が起きる限り、施設の側でも入所者やその家族の側でもどう対処するか、これからも多くの人が「どうしたらいいのか?」と、問われることになるでしょう。弁護団は、「この報告書が、転倒事故が起きたときの対処に少しでも役立ってほしい」と話しています。

報告集『あなたならどうする』の購入・問い合わせは、川崎医療生協（044-270-5881）まで。500円+税。

マイ・ベスト・トリップ
心に残る最高の旅
④箱根三人旅

だれにでも人それぞれ「心に残る旅」があるのでは? 若いころの一人旅、友人との旅、家族旅行…。長い旅、たった一日の旅。旅に違いはあれど、忘れられない最良の旅について、さまざまな人がその思い出を語ります。今回は、家族三人で行った箱根の旅です。

（文・写真　京浜協同劇団　瀬谷 やほこ）

箱根、熱海、湯河原には、私が勤務していた会社の保養所があり、箱根の保養所にはよく子ども二人と私の三人で出かけました。箱根というと緑に囲まれたところで、ゆっくりと温泉に浸かるようなことを想像しますよね。でも、私たち三人連れは少し違っていました。

なぜ親子四人連れでないかというと、その頃夫は差別に対する闘争のさ中で忙しく時間がとれなかったからです。

そして、なんで三人でも出かけたかというと、その頃私たちは京浜協同劇団の稽古場の二階に住んでいたため、個人の生活に劇団の活動が押し寄せていました。よく息子が「劇団の人がドアを開けてからノックして『居る?』というのは止めてほしいよ」。そう怒って抗議してきました。私は劇団員だからそんなに気にしていなかったのですが、息子にしてみれば、個人の生活の自由を侵す人権問題だったのでしょう。

1977年、よく3人で出かけていた頃。

そんな子どもたちのイライラを解消するためや私の方もイライラが多かったかもしれないのでそれを解消するために箱根にはよく出かけました。

子ども達はうれしそうでした。晴ればれしていて自由に飛び跳ねていました。保養所の玄関を出ると少し下り坂になっていて、その坂をコロコロした身体つきの息子が走り出し、止まらなくなり、崖からおちそうになるところを、私が抱きついて止めて、「ああよかった」と、息子を抱きしめてホットした時もありました。

また、お金が足りなくなりそうで、帰りのバス代を浮かせれば何とかなるかなあと「箱根駅伝のあ道を歩くのもいいか」と三人で歩いたこともありました。子ども達も楽しそうに歩いていました。

しばらく歩くと、車道のすぐわきの崖に、清水がチロチロ流れ、苔が一面に生えている場所を見つけました。苔を触ったり清水の流れを手で止めたりして遊んでいました。今思えばすぐ横を車が走っているのに危険そのものです。車を運転していた人は「なにアブナイことをやってんだ」と腹をたてたでしょう。

その後は、疲れたからか危険を感じたからか、二停留所ほど歩いて、ちょうど来たバスに乗り小田原まで行き無事川崎に着きました。

忙しい生活のなかで、自分の生活の時間を求めた、親子三人旅でした。

からだにやさしい料理　第81回

★豆腐のワカメあんかけ★　海藻を食べよう!⑨

川崎協同病院 栄養科 調理師　深澤 廣綱

【材料】　2人分
- 絹ごし豆腐 …… 150g
- むきえび …… 20g
- カットわかめ …… 1g

調味料A
- 水 …… 100cc
- 薄口醤油 …… 大さじ1/2
- 酒 …… 小さじ1/4
- みりん …… 小さじ1
- 昆布だしの素（顆粒） …… 小さじ1/4
- 片栗粉 …… 2g

【作り方】
1. 絹ごし豆腐とむきえびを下茹でして汁椀に入れる。
2. カットワカメを水で戻す。
3. 片手鍋に戻したワカメを入れて、調味料Aを入れる。沸騰し、とろみがついたら火を止める。
4. ①に③をかけて完成。

♥一口メモ：チョイ足しで、ラー油をかけてもいいですよ。

1人分67kcal.　塩分0.8g　タンパク質6.4g

組合員の広場

セツルふれあい健康まつり開催!!

11月3日。幸区古市場の古市場第5公園で「ふるさと健康祭り」が開催され200人が集まりました。青空のもと、川崎セツルメント診療所の安藤慎之介所長の開会挨拶から始まり、太鼓・ラジオ体操・太極拳・バンドの演奏・バナナのたたき売りと楽しい演目が続き、お店も診療所の職員の皆さんや、組合員のお汁粉、ワカメ・大根販売、コーヒー・手作り品の販売、バザーなど多彩でした。

こどもコーナーではバルンアート、コッパトイ、お菓子釣り、輪投げなどで秋の一日を楽しみました。もちろん健康祭りの主役健康チェックにも多くの人々の参加があり、医療生協ならではのお祭りになりました。

理事　西尾 理恵子

オープニングの太鼓

出店も人気

子ども400人以上が訪れる人気イベント

10月18日。大師本通り商店会が主催するストリートハロウィンに大師診療所として出展しました。

このイベントは毎年行われていて、事前申し込みで400人、大人も合わせれば1000人以上が小さな商店会の中を「トリックオアトリート」と協力店舗を周り、スタンプラリーを行いました。

大師診療所は、健康チェックとして〝握力〟と〝棒反射〟、子ども向けに〝聴診器を聴いてみよう〟、〝なりきりPhoto〟コーナーを作り、握力は151人が訪れました。

〝聴診器を聴いてみよう〟では、看護師の指導のもと自分の心臓の音を聞いて喜ぶお子さんや妊娠中は聞いていた心音、出産後初めて子どもの心音を聞いて感動するお母さんなどもいました。

〝なりきりPhoto〟コーナーは、子どもだけでなく親子や孫と一緒に白衣を着て撮影する人いるなど人気でした。

大師診療所

白衣を着てハイポーズ！

初企画 健康クイズラリー

11月16日、宮前区の県立東高根森林公園で、川崎医療生協の主催、宮前区の後援で「みどりのまちで健康クイズラリー」を行い、200人が来場しました。

川崎医療生協としては初めて大きな公園を利用してのクイズラリーで、全部歩くと1時間ぐらいのコースになりました。

クイズラリーに参加した人は28人で、「なかなか歩き甲斐がある」「クイズが面白い、ためになった」との感想があり、宮前区と川崎医療生協からそれぞれに参加賞が渡されました。

また、健康チェックコーナーが設置され、体組成と握力、棒反射、足指力、血圧のチェックをしました。

川崎医療生協の看護師やケアマネージャーも参加し、結果説明や医療相談、介護相談を行いました。

モルック体験も行い20人ほどが参加しました。初めての企画でしたが、今後も継続していきたい企画でした。

健康まちづくり推進部

初企画で200人が参加！

インターナショナルフェスティバルでモルック体験

11月9日、中原区の川崎市国際交流センターで行われた「2025インターナショナルフェスティバルinカワサキ」に、川崎医療生協も参加して「モルック体験」のコーナーをもうけました。

当日は雨で、外の会場で行うことができず、別棟の施設で、ペタングや世界各国の文化を知らせるフロンターレのコーナーと並んで、モルック体験会を行い131人が参加しました。モルックの経験がある人もない人も一緒に楽しめるのがこのスポーツのよいところで、この日も、いろいろな国の人も参加して盛り上がりました。

イベントではこのほか、コーナーや、衣服やアクセサリーを販売するブースもあり、外のスペースにはいろいろな国の料理のキッチンカーが並び大盛況でした。

編集委員会

盛り上がったモルック体験

秋の多摩川散策に33人が参加

宿河原支部の吉田班は、コロナ禍でなかなか集まれませんでしたが、10月15日にやっと3人の時間が合い、昼食班会をすることができました。

なじみの店に行ったら、昼のお客が大勢来て食材がきれてしまったということで、近くの何軒かをあたってみましたが、なんと昼どきなのに閉まっている。4軒目に旗が出ていたお店がありましたが、もともと飲み屋さんだったので、恐る恐る入って行きました。ところがなんと洋食店に変わっていてとてもステキなお店になっていました。

熱いハンバーグ定食をおいしくいただき、食後のコーヒーもとてもおいしく、いい食事班会になりました。帰りはお寺の中を通ってお寺の庭の花にいやされました。門を出たところで畑の人と話がはずみ、おみやげをもらって来ました。ねぎ。リラ。しその葉等たくさんもらいました。

これも班会のおかげです、次回は班員全員でにぎやかな会ができるといいねと別れました。

宿河原支部　吉田班

生田緑地で、美術館などを訪ねる

10月17日、たかつ支部の女性13人で生田緑地を訪れました。

まずはおいしい民家園の蕎麦を堪能しましたが、値上がりに驚きました。

次は岡本太郎美術館で、「戦後80年《明日の神話》次世代につなぐ原爆×芸術展」が開催中でした。迫力ある「明日の神話」の絵のところに「岡本が核をテーマに挑んだ代表作『明日の神話』は、広島と長崎に落とされた原爆やビキニ環礁での水爆実験を題材としています。核の惨禍を乗り越えてなお、明日に向かって生きる人間像が描き出されています」と書いてあります。どこがどうなのか、芸術のことはわかりませんが、作品の持つ迫力と色の鮮やかさに魅せられます。

続いてはプラネタリウムですが、上映までの間に美術館のカフェで談笑しました。10月のプラネタリウムは、秋の星空を眺め「系外惑星をさがす」というテーマです。投影された星空に秋の四辺形を起点にして、ペガスス、アンドロメダ、フォーマルハウトなどを探します。想像もつかない宇宙の話は不思議がいっぱいです。「夜がもっと暗くて天空にもこの矢印があったらな」と思ってしまいました。

たかつ支部　松本 信枝

迫力ある岡本太郎の「明日の神話」

「メガスター・スリー・フュージョン」
世界最高水準のリアルな星空を投影

組合員の広場

ただいま建設中！ 京町診療所リニューアル

建物の周りを囲んでいた足場が取れました！

外壁には軽量性・高強度・高耐久性、耐火性・耐震性、遮音性・断熱性に優れた材料を利用しました。

外壁色の木目調と黄色は、現地でサンプルを設置して建設地でどう見えるかの確認をして、組合員と職員がシール投票を行い、反映させてつくりました。

当初の計画にはなかった医療福祉生協連のロゴマークを上部に設置しました。ロゴマークの赤は「情熱」、黄色は「元気」を表しています。

11月からはいよいよ内装工事が始まります。診療所の雰囲気を決める壁紙や床、建具についても建設委員会で組合員と職員で相談しながら決定しています。看板や案内表示も急ピッチで確認しています。建物の完成と引き渡しは来年1月下旬の予定です。内覧会も計画しますので、是非、お越しください。

京町診療所建設委員会

増資目標を超過達成

小田地域は今年の4月から、京町診療所の移転リニューアルのための「ニューサンサン運動」を行っていますが、浅田支部は9月末で増資目標額の50万円の2倍以上を達成することができました。

移転が決まった時は、診療所から遠い浅田支部にとっては喜べる心境ではありませんでした。支部運営委員会でも「遠くなったら診療所に通えないと組合員脱退者が続出するだろう。

加入・増資を訴える事は難しい」と否定的な意見ばかりでした。しかし「なぜ移転リニューアルが必要なのか?どんな点が良くなるのか?」を丁寧に説明し、不安や疑問の声を聞いて改善する努力を重ねていくうちに、増資の協力者が増えていきました。

組合員への訪問行動でも「遠くなっても通い続けるよ。思ったほど遠くないですね。シャトルバスが増便するのですね。駐車場が増えて助かる」と新しい診療所に期待する声がでてきました。

組合員ルームも現在地近くに残ることが決まり、班会だけでなく、認知症カフェなど新たな取り組みができたらと考えています。ニューサンサン運動は来年も続くのでさらなる増資に向けて取り組んでいきます。

浅田支部　鈴木　みさ子

懐石料理で癒しの食事会

半年前から東小田支部のさつき班では、健康チェックと猛暑をどう乗り切るかの話ばかりでした。そんな中組合員さんの口コミで、とても良い和食の食事処があることを聞き、さつき班で食事会をしようと10月末にその食事処へ行って来ました。

「えん想」という懐石料理のお店で、入り口はあまり目立たない感じでしたが、店内に入ると天井が高く広い厨房続きのホールと和室がありました。

席に着くと向付が運ばれて、次は個々の食材の盛り合わせ膳が来ました。季節の品がきれいに入り、それぞれの素材の味がとても優しく、「美味しいね」とみんなが笑顔になりました。最後は主菓子と抹茶でした。

ちょっと贅沢な食事会でしたが、猛暑を乗り切った身体へのご褒美となりました。

東小田支部　さつき班
佐藤　カツ子

川崎医療生協 11月理事会報告

経営状況

経常利益10月：＋48,111千円（予算差▲10,530千円　前年差＋64,473千円）

累計：▲125,267千円（予算差▲142,605千円　前年差＋346,280千円）。

入院収益は予算を＋16,650千円超過し、法人全体の事業収益は予算よりも＋7,756千円と超過したが、事業費用が予算より＋20,132千円超過した。

予算に届かなかった大きな要因は、介護収益が予算を▲12,851千円と届かなかったことと、材料費が予算を21,889千円上回ったため。

議決事項など

●育児介護休業等に関する規程の改訂●システム更新に伴う賃金号俸表の改定●賃金号俸表別表の改定●懲戒処分の件。

健康づくり・社保・平和の取り組み

●医療崩壊を食い止める緊急行動提起の推進●知ってもらおうキャンペーンの推進。

公告

第77回通常総代会（2026年６月24日）に行う役員改選に先立ち、役員選任規約第６条にもとづき、地域区分理事候補者について推薦申し出を受け付けます。

（1）役員選任を行う総代会の日時及び場所
2026年６月24日（水）午後１時から高津市民館大ホール

（2）役員選任規約第３条に基づき理事会が決定した地域区分別の理事定数（下表）

（3）申し出での受付方法及び申し出での制限

1）申出の受付方法
生協本部にある「立候補受付用紙」に記入し、期限内に生協本部までお届けください。

2）申し出での資格
理事は、特別な理由がある場合以外は組合員でないといけません。また、①未成年者、②被補助人、③破産手続開始の決定を受け復権していない者等は候補者になることはできません。

3）申出の期限
2025年12月１日（月）～12月28日（金）

受付時間　土日曜と祝日を除く午前10時～午後４時

地域区分	定数
大師	3
協同	4
小田	3
幸中原	4
高津宮前	4
多摩麻生	4
職域	3
合計	25

班会日誌

10月度　34支部　140班　896人

		人
大師東支部		
元気お話会	楽しくお話	7
プラチナ	モルックで遊ぼう	10
チョコトレ	秋の多摩川散策	5
リラ	歯の話	3
大師健康麻雀	健康麻雀で交流	10
大師レインボー支部		
野菊の会	八角形の箱作り	4
大師中央支部		
わろてんか	寄席準備	3
建設一般	秋の拡大月間のとりくみ	10
民商	懇談	3
大師フレンド支部		
ウォーキング	ストレッチ体操・ペットボトル体操	7
オカリナ	オカリナの練習	8
おしゃべり	病院の待ち時間　インフルエンザ予防　医療費の負担割合など学ぶ	6
お絵かき	各自で各テーマを描く	6
さくら会	中学１年生教科書を読み解く	5
ひまつぶし	脳トレ	3
リフレッシュ	ラジオ体操・血圧チェック	6
リメイク	ズボンの裾上げ	6
味菜（あじさい）	料理作りと会食	4
歴史	ゼロからの「資本論」	6
藤崎北支部		
健康麻雀	健康麻雀	13
てくてく	生田緑地ばら園散策	7
向日葵	ゴム印で印を作ってみよう	5
欅の会	ミニ学習会と茶話会	9
藤崎南支部		
モルック	モルック	5
観音支部		
あるこうかい	東海道川崎宿場まつりに参加	10
すみれ	モルック	4
観音健康ボウリング	ボウリング	5
健康マージャン	健康麻雀	18
池上新町支部		
カラオケ	大声で歌う	13
ひまわり	モルック	6
手芸	くるくる手回し絵	12
桜本支部		
黄金	折り紙と雑談	4
さくら	周遊バスあかいくつで横浜観光	5
大島支部		
あかり	書道	7
未摘花	ダンベル・ストレッチ	4
浜町支部		
クラフト	カゴ作り	4
プアカーネーション	フラダンス	8
プルメリア	フラダンス	4
渡田支部		
モルック班	モルック	9
歩いて楽しむ会	ちょこっとウォーク	4
小田支部		
桜	圧倒されました	3
ムーミン	運動会を楽しもう	4
夏つばき	月見	3
たんぽぽ	健康チャレンジをはじめる	3
ちょこっとウォーク	秋晴れ	10
ラジオ体操	機械に弱い私、(おばあさんです)	25
東小田支部		
さつき	血圧チェック・増資	7
小田７丁目公園	チョコットウォークとストレッチ	8
浅田支部		
おりづる	コスモスのリース	7
ひまわり	折り紙コスモスの花	7
じぃじとばぁばの手習い	六字で新しい教材でした	5
けやき	体操・ウォーキング	3
こまくさ	政治談議と新聞の読み合わせ	5
京町支部		
スキットル	アウトドアゲームーモルックをしよう!ー	7
手芸	作品作り	7
ロード	川崎地域安全のつどい	3
さくら	健康について	3
ひまわり	おり紙	10
古流生花	生け花	11
川崎駅前支部		
キャロット	10月ニュース仕分け	5
あじさい	秋到来	8
なおて	市長選の話し	5
IT	くるみクラブ参加	3
御幸支部		
ひまわり	河原町団地に住んで51年	7
紅葉	ダンベル・ストレッチ体操	5
南河原支部		
モンチッチ	BP測定	3
あづま	ウォーキング教室	6
オレンジ	新聞ちぎり絵教室	4
読書会	読書会	3
絵手紙	ぷらぷらしんのみまつりために送る絵手紙を描こう	5
古向支部		
日の出	太極拳で体力作り	3
ハイキング	ハイキングで体力作り　班員の懇親を深める	17
くちなし	フレイル体操	7
日の出	太極拳で体力作り	4
新川崎支部		
元美人	血圧・握力チェック	6
やよい	布で作る、牛・パラ・七福神作り	5
おどろう会	楽しく踊って全身運動　健康で元気な体に	7
プラチナ	お口の健康	7
ラビット	ゆる体操	8
日吉支部		
シクラメン	フレイルお口の健康	5
玉川		
山王町下沼部	けんこう体操	4
きら美	足指力チェック・体操	6
住吉支部		
コスモス	気功・朗読・おしゃべり	5
川柳の会	おしゃべり	4
気功と太極拳	気功と「八式」	6
雲雀	麻雀を楽しむ	5
小杉支部		
さくら	手作り食事会	5
そら豆	「病気の事」ばかり	16
ひまわり	食事会	3
アニマル	消費生活展	3
ヤマブキ	健康チャレンジ他	3
しいの実	モルックを楽しむ	13
スイートピー	眼・歯などの治療の話	4
溝ノ口支部		
いまが青春	健康麻雀、将棋	11
おたまじゃくし	唱歌童謡を唄う	4
ゆいの会	ニュースセット、おしゃべり	4
囲碁サロン	囲碁	4
楽歩会	ビール工場見学	8
公園体操	高津公園体操	12
水彩画	コラージュでアート	3
橘支部		
ダンベル	みんなで体操	6
つれづれ	健康麻雀	12
さくら	介護の話	4
梶ヶ谷	ニュースセット、いつでも元気学習	4
癒しのお手玉	基本の遊び３種とゲーム	4
ドリーム	おしゃべり	6
シクラメン	敬老会食	24
アカシヤ	ぬり絵とおしゃべり	5
フラワーレディズ	年金者まつりと総会の話	6
すずめ	健康麻雀	10
たかつ支部		
エアボ	だじゃれ活用で楽しむ	4
おりづる	折り紙	7
クィーン	星空を楽しむ	9
エアボ	エアーボウリング	10
宮前支部		
ひまわり	足指力、握力チェック	4
しんぶんちぎり絵	展示作品作り	3
ピンポン	ウォーキング	4
コスモス	会食、ペットボトル体操	5
白幡台	気になるうんこの話動画学習	4
さくらそう	健康体操	4
すみれ	ペットボトル体操	5
南平	認知症が気になるあなたに（いつでも元気）	4
ジャスミン	会食、握力チェック	11
つぐみ	新班結成	3
長尾住宅	骨密度チェック	6
長尾堰支部		
茶の実	血管年齢について	6
すずめ	麻雀にて脳トレーニング	4
歩歩路	食事会	4
コスモス	スケッチを楽しむ	4
アジサイ	マージャン	4
ひまわり	転倒防止体操	8
宿河原支部		
パークゴルフ	自然の中でパークゴルフ	8
すこやかダンベル	筋力維持と親睦	4
多摩支部		
せんごく	ロコモ体操＆群読	6
麻生北支部		
マフマフ	麻生健康まつりの反省会と今後	5
コーラスミール	本番に向けて	6
麻生南支部		
キルトのなかま	クリスマスオーナメント	6
食と農を考える会	農業の多面的技能	8
なんじゃもんじゃ	座間谷戸山公園植物観察会	9
お絵かき	各自自由に	5

〈みんなで楽しい班会〉３人以上集まれば、班がつくれます。近くの町内会事務所や組合員のお宅、病院・診療所の組合員ルームなどを利用して、楽しい班会をひらきましょう。

読者の広場

読者の声

母を見習って

麻生区　岡野　由美子

91歳の母の得意料理のひとつに「キクラゲとザアサイの炒め煮」がある。近所の人や私の友人にもお裾分けするのだが、どの人からも美味しい美味しいと大人気。

元々お料理が好きで、今でも台所にいて、新しい料理を考えたり作るのが何より好きな母。三度三度のご飯も全て自分で作る（食べる量はさすがに減ったが）。

自分が91歳になった時、果たしてそんなふうにできるかなあ。母を見習って頑張らねばならんと思う今日この頃です。

元気がいちばん

中原区　荒川安希子(71)

秋のお彼岸を過ぎたころから朝晩は少しずつ涼しくなってきましたが日中の寒暖差が激しく、年齢を重ねてくるとそのせいもあり体調を崩しやすいです。

いったん体調を崩すと元に戻るのはすごく時間がかかります。気力、体力、脚力。今までたくわえたものがいっぺんに飛んでしまいます。元気がいちばんです。

新総裁

宮前区　髙山富恵

自民党の新総裁に初めて女性が選ばれました。

女性らしい感性で、平和や家庭生活を大事にする政治を期待したいところです。しかし、働いて働いてワークライフバランスを捨てて働く、との宣言。

自民党の皆さん、そして、ゆくゆくは、国民にそれを強要するのではないかと危惧されます。今でさえ大変なのについていけますか？

自民党は変われるのでしょうか?!

特急に乗って

多摩区　桂木　千賀子(77)

先日孫と富士山ビュー特急に乗り1号車でスイーツとお茶を頂きながら富士山をよくみて久々の休日を楽しみました。

習で作ったので自信あるみたいでした。

でも煮込まずレンチンでジャガイモを柔らかくすると習ったらしく時代なのか?とびっくりしました。味は…まぁ初めてだからねって感じでした(笑)。

娘の肉じゃが

川崎区　筆本三希(50)

風邪をこじらせ肺炎になりしばらく寝込んでましたが、高校生の娘が初めて肉じゃがを作ってくれました。学校の調理実

腸活にも

川崎区　末吉　貴子(45)

毎号楽しみに読んでいます。

10月号のからだにやさしい料理の「もずくの天ぷら」がとても美味しそうです。腸活にも良さそうなので、作ってみようと思います！

おすすめ 絵本紹介⑳ 思いでの

気になる こぎつねのママ　ママのこぎつね

文：施暖暖（シーノアノア）、龍縁之（ルンユエンチー）　絵：施暖暖　訳：古谷朋

現代書館　2200円（税込み）

最近は毛皮のコートを着ている人を見かけることも少なくなりましたが、毛皮はその美しさからアクセサリーや手袋やフードの装飾などに使われていて、今もたくさんの動物がその目的のために、劣悪な環境で飼育されたり捕獲されたりしています。毛皮にされるために親のもとから連れ出されたこぎつねとそのこぎつねを探すため檻を抜け出した親ぎつねのお話です。本をひっくり返すことで前からも後ろからも読める不思議な仕組みになっていて、こぎつねと親ぎつね、両方の視点で読むことができます。

読み終えて毛皮産業の現実を知り、あらためて仲良く寄り添って眠る親子きつねの絵を見ると胸が苦しくなりました。たくさんの人が今もこのようなことが起こっているのを知ることは何かが変わって行くきっかけになるのでしょう。

編集委員　飯野 伸代

「マイペース日記」の谷田部さんから

本紙7月号で終了した「淡々と前向きに　谷田部さんのマイペース日記」に、読者から谷田部さんへのメッセージがたくさん届きました。これに対しての谷田部さんからのメッセージを紹介します。

多くの読者に読んでくださりありがとうございました。9月6日にはイス付きリュックで核廃の署名活動に参加してきました。

週2回のデイサービス、同じく週2回の福祉作業所での仕事の効果と思われる出来事も生じています。去年の今頃はできなかったきゅうりの千切りがまあまあかなと思えるほどにできました。梨の皮むきもまるいままの梨を左手に持ち、それをまわしながら右手の包丁で上手に皮が長く続いてむけます。両肘は流しの辺で支えながらですけれどね。

冷奴も今まではチューブの生姜と花かつおだけでしたが山芋の千切りとか白菜キムチ漬けを細く切ったりしています。一口大に切れているかぼちゃも煮るようになりました。

歩行は杖をついて人の何倍もの時間がかかるけれど、マイペースで歩いています。街の中に木陰のベンチ、これからは陽なたのベンチが欲しいですね。

谷田部　洋子

こんな川崎、これも川崎　シリーズ第68回　さいわいふるさと公園（幸区）

東西に約31ｋｍ、南北に約19ｋｍ。東京と横浜に挟まれた東西に細長い川崎市は、内陸の北側と海側の南では街の風景もかなり違います。そんな川崎の知られざる見どころを紹介します。今回は、ＪＲ横須賀線「新川崎駅」から歩いて10分ほどの「さいわいふるさと公園」を紹介します。

編集委員会

園内にはマリーゴールドが咲いていました

さいわいふるさと公園がある場所は、もとは東洋一の規模を誇った旧国鉄の新鶴見操車場でした。１９８４年に廃止となりましたが、今でもＪＲ貨物の車両基地があり、駅周辺では「撮り鉄」の人をよく見かけます。また、１９８０年には新川崎駅が開設して乗客の乗り降りが始まると、空き地となった場所に、大型マンションや、川崎市と慶應義塾大学との連携で、先端的な産官学共同研究を目的とした「Ｋ２キャンパス（新川崎タウンキャンパス）」、大手企業の研究施設などがどんどん立ち始め、住民も増えて、２０２５年４月には新しく小学校もできました。

そのような建物の間に、心癒される「さいわいふるさと公園」があります。この公園は、２００３年に暫定緑地として、市民の手で緑化活動などが行われ、２０１０年に公園として整備されました。

公園内は「緑の散策ゾーン」「わんぱくふれあいゾーン」「多目的ゾーン」の3つに分かれています。「緑の散策ゾーン」には、里山のように鳥の声が聞こえてくる雑木林や、カルガモもやって来る池、すすきの原っぱがあります。また、花壇や、コミュニティガーデンもあり、1年を通していろいろな花を見ることができます。

すすきの原っぱは整備中

わんぱくふれあいゾーン

「わんぱくふれあいゾーン」には、ドラえもんの物語に出てきそうな土管が置いてある広場があります。

「多目的広場」は、野球やサッカーができる広さでトイレも設置されています。ちょっと公園でのんびりしたいときに遊びに行くのにちょうどいいところです。この公園から夢見ヶ崎動物公園のほうに行く途中には、おいしいお団子屋さんもあります。

読者の広場

成長を感じて

幸区　りえさん

小学生の息子とクロスワードを解きました。昔は答えが全然出なかった息子も、最近はだいぶ解けるようになり成長を感じます。

配る人に感謝

幸区　相見 重子(68)

毎月、楽しく読ませて頂いています。配る方のご苦労も察する以上にあると思っています。いつもありがとうございます。

早速行きました

高津区　平井 めぐみ

記事でうなねパークゴルフについて初めて知り、早速子どもと行き楽しんできました。同じ区内でもまだまだ知らない場所がありますね。

年末に向けて

川崎区　鈴木 千尋(41)

インフルエンザワクチンを打ちました。日頃から体調管理に気をつけて、年末に向けて元気いっぱいで過ごしたいと思います。

書店が閉店

宮前区　佐藤 實(88)

書を趣味としている私にとって残念なことは、近くの書店が次々と閉店になってしまうことです。最近も区役所近くにある大型店が閉店になるというニュースを聞き、気落ちしてしまいました。書店に行くと幾多の書籍に触れることができ、教養を深める糧になっていました。こんな現状を受け入れざるを得ないのは、残念の極みです。

体調管理が大変

多摩区　杉村 智香子(55)

急に寒くなり体調管理が大変です。インフルエンザ等に気をつけたいです。

和らぎます

川崎区　竹原 歩(44)

最近少し涼しくなったので徒歩で出勤できる日は歩いています。自転車だと気がつかない歩いている人の表情や動き、そして猫などを見て、日々の忙しさが少し和らぎます。

サツマイモ掘り

川崎区　鈴木 優子(72)

孫と一緒に行ったサツマイモ掘り楽しかったです。主催者が用意してくださったけんちん汁が美味しかったです。

「スパイ防止法？」 210 おたふく

みんなで川柳

みなさんからのオリジナル川柳をおまちしています

くまもんはかわいいけれどくまこわい　幸区　長澤 昭子
「深夜便」聴いてたはずが子守歌　多摩区　小林 光子
ねだっても取れないものよ平和賞　宮前区　佐藤 實(88)
原発を廃炉にしたら避難なし　多摩区　内藤 和子(79)
呼び出しの声がひびくはロンドンぞ　多摩区　菅野 節子(94)
へそ天で孫と寝ている猫家族　多摩区　鈴木 孝法
バアさんとまだ呼ばれたくない百一歳　川崎区　川越 怜子(101)
黒電話スマホ探しの必需品　川崎区　草野 みつ子
CMの顔で選んだおせちです　川崎区　遊佐 ミチ子(96)
病室の窓から誘う居酒屋の灯(ひ)　川崎区　牧岡 英夫(73)

編集部よりひとこと

クマの問題、人間にもクマにも深刻です。くまもんのことを心配している人も多いのでは。

10月号の答は「サツマイモ」でした。応募者は284人（正解は281人）。内訳は川崎区166人・幸区17人・中原区11人・高津区22人・宮前区13人・多摩区29人・麻生区20人・市外3人です。編集委員会で抽選の結果、当選者には図書カードをお送りしました。

越田 重美（川崎区）
鈴村 由利子（川崎区）
吉田 勇美（川崎区）
今井 剛司（川崎区）
石川 清治（川崎区）
嵐田 孝子（川崎区）
直井 紀泰（川崎区）
川島 よし子（川崎区）
鈴木 里枝（川崎区）
石橋 あゆみ（川崎区）
遠西 あい（川崎区）
大沼 真早美（川崎区）
山﨑 香代子（幸区）
椎名 多美男（中原区）
千葉 和子（高津区）
都丸 茂信（宮前区）
坂田 祥子（多摩区）
山下 房子（多摩区）
菊池 健太（麻生区）
飯田 浩二（市外）

〈敬称略〉

解答と当選者 352回

ウ	マ	オ	イ	■	コ	サ	メ
マ	ツ	■	ナ	カ	ナ	オ	リ
■	リ	ン	カ	ー	ン	■	ツ
サ	バ					サ	ト
カ	ヤ					ン	■
ア	シ	ユ			ミ	マ	イ
ガ	■	セ	ン	モ	ン	■	シ
リ	ガ	イ	■	ズ	イ	ヒ	ツ

答え「サツマイモ」

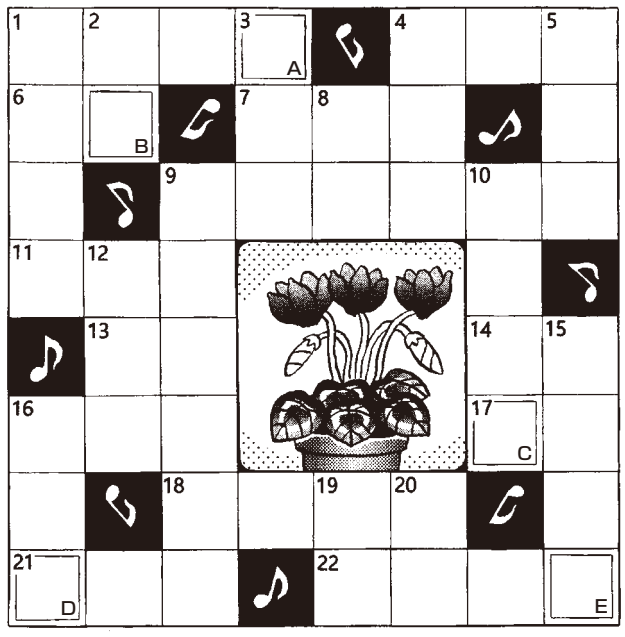
応募要項

パズルと川柳の応募はハガキ、メール、QRコードからも受け付けています。郵便番号、住所、氏名、電話番号とよろしければ年齢も記入してください。**メールアドレスが変更になっていますのでご確認下さい。**本誌への感想や近況も記入していただければ幸いです。なお、**川柳はひとり、一句、既に発表済のものはご遠慮下さい。**正解者の中から抽選で20人に図書カードをお贈りします（連続10回当選しなかった方にも贈呈します）。締切りは12月25日、当選者は2月号紙面に掲載します。

〈送り先〉
〒210-0804
川崎区藤崎4-21-1　3階
川崎医療生協本部
編集委員会

QRクロス 第354回

《解き方》二重ワクの文字をうまく並べてできる言葉は？



A　B　C　D　E

メールでの送付先 kenmachi@kawasaki.coop

ヨコのカギ

① 晩秋から初冬にかけて吹く冷たい北風
④ イワシの○○○も信心から
⑥ 五〇〇豊穣
⑦ 赤と白の果実酒
⑨ 二枚貝のような形をしている小さな打楽器
⑪ 首都はテヘラン
⑬ ○○暗示。○○嫌悪
⑭ 出船の合図に使う打楽器
⑯ シューベルト作曲のゲーテの詩による歌曲
⑰ ○○あれば苦あり
⑱ サンタのソリを引く動物
⑳ 栗の実を包んでいます
㉑ 初対面の人に渡します
㉒ 声を拡大するラッパ型の筒

タテのカギ

① 新米より2年前にとれた米
② 絵や写真を入れて飾ります
③ 11月は霜月、12月は？
④ ドイツ生まれのユダヤ人の少女が書いた○○の日記
⑤ そでのないコート
⑥ ○○前。まな○○、○○わさ
⑧ オーバーツーリズムに頭を悩ます都市
⑨ シベリアやアラスカ地方の凍土帯
⑩ 35年間続く○○○深夜便
⑫ パラダイス。地上の○○○○
⑮ 本気。真剣。○○○に働く
⑲ ○○の甲より年の功

分断・対立から共感・連帯へ
築こう平和と人の尊厳

第38回 日本高齢者大会inさいたま開催

11月11日から12日の2日間、埼玉県の大宮ソニックシティを会場に「第38回日本高齢者大会inさいたま」が開催され、会場に2300人、WEBでの参加が240人、合わせて2540人が参加しました。

1日目は、「熊谷の戦跡ツアー」など外を歩いて学習する分科会が3つと、10個の学習講座、6つの分科会に分かれて行われました。

講座・誰もが移動できる権利

「誰もが移動できる権利をまもるために」の学習講座では、島根大学名誉教授の保母武彦（ほぼ）さんが講演しました。保母さんは、色々な調査の中で明らかになった高齢者の「三大不安」として、「健康」「お金（経済）」「孤独」だと話し、東京都監察医務院の統計で、東京23区内における65歳以上の一人暮らし高齢者の自宅での死亡者が、2003年が1441人だったのに対し、2020年には4207人と増加し、孤独死が身近な問題になっていると訴えました。

保母さんの学習講座

また、国土交通省の「将来の社会・くらしに関する意識調査（2020年）」では、60代以上の人で老後生活の「不安」について「移動が困難になる（こと）」との回答が、人口5万人未満の市町村で7割弱あると説明し、移動の問題は、地方だけではなく都市部にも蔓延していると話しました。

また、移動が困難になれば、社会参加活動もままならず、福祉・介護・医療施設との往復も困難になると訴え、「移動する権利」が保障されなければ、人との繋がりが途切れ、孤立状態に追い込まれ、最悪の場合には「孤独死」にも繋がりかねないと警告しています。

太鼓と歌でオープニング

2日目は、大ホールで全大会が行われ、オープニングには埼玉を活動拠点にしている、太鼓集団「響」の和太鼓演奏「秩父屋台囃子」と、今回の高齢者大会のために集まってつくられた「300人を超える合唱団」が「いのちの歌」「折り鶴」を歌い、合唱の最後に観客も一緒に「いつでも夢を」を歌いオープニングを飾りました。

300人の合唱（上）と和太鼓のオープニング

社会保障制度のあゆみ

記念講演では「戦後80年：社会保障制度をめぐるあゆみと教訓」と題して、芝田英昭さん（元立命館大学・元立教大学教授・水彩画家）が講演しました。芝田さんは、社会保障制度は、生活の糧である賃金が減少したり、支出が増えた時などの生活問題を緩和・解決するものであり、「国が国民を恩恵的・慈恵的に助けるのではなく、人々の当然の権利を保障する制度」が人権としての社会保障制度だと話しました。

芝田英昭さん

そして、戦後からの社会保障政策がどのように行われてきたかを話し、現代の戦前回帰の「能動的軍事国家」に道を開く政府の動きにたいし、今後日本は、人を殺す軍事費を増額するのではなく、「平和憲法」を生かし、積極的な対話外交を通じて、戦争をしない国を目指し「社会保障強国」を目指すべきだと話しました。

芝田さんは最後に、高齢者が生きがいを持って暮らせる社会を構築することが、若い世代にとって、「将来の自分」に希望が持てる社会であり、全世代型社会保障路線は世代間対立を煽り、社会を崩壊させかねないと警鐘を鳴らしました。

来年は大阪で開催

基調講演の後は、基調報告や各団体の報告があり、最後に大会の旗を、来年の開催地である大阪の代表者に引き継いで大会を終えました。

私の戦争体験128

伝えたい思い

宮前区　大貫 郁（かおる）（95歳）

戦地から戻った兄は自殺

私は、1930年6月に栃木県那須郡境村（現在の那須烏山市）で生まれました。実家は農家で12人家族、祖父母と両親の他6人の兄弟の末っ子でした。私も当時は軍国少年で、「天皇陛下は神」とか「神風」を信じていました。

学徒動員で働く工場に空襲

学徒動員により、中島飛行機株式会社（後に富士重工業、現＝SUBARU）の工場で、重爆撃機「呑龍（どんりゅう）」の機体を作っていました。終戦間近、工場へ空襲がありました。警戒警報が鳴ると同時に、敵機が上空へ飛んで来ていました。後に分かったことですが、アメリカの戦闘機「グラマン」が爆弾と機銃で攻撃してきました。

工場内の防空壕へ避難していたところ、急に壕の土が崩れました。時間をおいて外へ出てみると、壕から100メートルのところに爆弾が落ちて、すり鉢状の大きな穴があいていました。もしも防空壕へ直撃していたらひとたまりもなかったでしょう。一緒に避難していた人たちと生きていることを喜び合いました。それから間もなくして終戦、私は実家へ帰りました。

戦地から帰って来た兄

家族の中では、兄が徴兵されて満洲へ行きましたが、幸い生きて帰ってこられました。ところが、帰ってきてからは家で寝ていることが多く、しばらくして自殺してしまいました。詳しくは聞かなかったのですが、戦地での体験によるPTSD（心的外傷後ストレス障害）が原因だったと思っています。

戦後の食糧難で

実家の村には「烏山線」という列車が走っていました。戦後の食糧難のため、都会から穀物やいも類を買いに大勢の人が乗ってきていました。一方で、警察による一斉検査があり、見つかるとすべて取り上げられてしまいました。一斉検査があるとわかると、人々は「警察に取られるくらいなら捨てた方がましだ」と、列車の窓から放り投げていました。「必死になってやっと買ってきたものを取り上げるなんて、血も涙もない」と誰もが口にしていました。

二度と戦争を起こさせないために、教育の大切さだけでなく、言論の自由と民主主義が保証される世の中を守ってほしいと心から願っています。

「かわさき巡回平和展」開催中　あと3会場のみ

2026年3月に、中原区にある川崎市平和館で開催予定の「川崎大空襲記録展」のプレイベントとして、今年の10月から川崎市内7か所を巡回して展示を行っています。

この企画は、川崎大空襲関連のパネル及び原爆パネルを展示することにより、戦争や原爆の悲惨さを訴え、平和啓発を推進することを目的としています。

あと3会場を残すのみとなりましたが下記日程と場所をお知らせします。

会場	日程	展示が観られない日
幸区役所1階　展示コーナー（幸区戸手本町1丁目11－1）	2025年 12月17日（水）～12月25日（木） 午前８時30分～午後5時	土曜日、日曜日
麻生市民館3階　ウォールギャラリー（麻生区万福寺1丁目5－2）	2026年 1月30日（金）～2月4日（水） 午前９時～午後９時	2月2日（月）
多摩区役所1階　アトリウム（多摩区登戸1775－1）	2月6日（金）～2月8日（日） 午前８時30分～午後９時	この期間中はなし

問い合わせ　川崎市市民文化局人権・男女共同参画室平和館
電話：044-433-0171　ファクス：044-433-0232　メールアドレス：25heiwa@city.kawasaki.jp

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。